

高規格救急車の資器材のご紹介

昨年11月に導入されました新高規格救急自動車には最新の医療機器、資器材が設置されています。その一部をご紹介します。

①心電図モニター

車内で患者の胸に電極を装着して、心臓の動きや血圧、脈拍を観察する



③冷温蔵庫

熱中症などの処置用品の冷却用



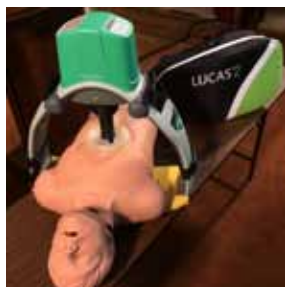
②半自動式除細動器

心臓の動きが止まりそうになっている患者に、電気ショックを行い、もとの心臓の動きに戻す救命機器



④防振ベッド

揺れを吸収し、患者の不快感を減らす



⑤自動心臓マッサージ器

心臓の動きが止まった患者に、1分間に100回の速さで心臓を効果的に自動でマッサージを行う



⑥マジックギブス

骨折等の固定に使用する資器材で、空気を抜くことで固定ができ、痛みを和らげる。(全身、腕、足など)

⑦携帯用吸引器

食物・液体等で呼吸の通り道をふさがれて、息ができないときに異物を吸引する



⑧レシプロソー

のこぎり刃が電動で動き、交通事故等で挟まれた人を救出する(ペダルの切断など)



大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

『後にしよう その油断が 火事になる』

